

看護研究 第11巻 総目次

1978年（第1号～第4号）

焦 点

再び看護研究とは何かを問う

文献検索 看護研究最近の動向——過去10年間に
掲載された“看護研究”誌上の研究報
告を中心として——……………1(1)

中西 睦子

論説 望ましい学会の姿……………12(1)

橋本 秀子

座談会 今日的看護研究のあり方を考える……………16(1)

吉田時子／津田佳世子／鎌田ケイ子

山岸 治美／前原 澄子

座談会 看護実践家にとって看護研究とは……………29(1)

中野智津子／多田 迪代／三宅多磨子

川畑 安正／氏家 幸子

海外論文 An Overview of Nursing Research
in the United States

アメリカにおける看護研究の歩み……………42(1)

Susan R. Gortner／Helen Nahm

訳・武山満智子

保健医療行動に関する看護学的研究

序説 看護学的視点からみた保健医療行動論
……………85(2)

金川 克子／吉田 民子

天津 栄子／小野ツルコ

調査報告 一般住民の成人病検診受診行動につ
いて……………91(2)

林 桂子／小坪 昭子／小野ツルコ

調査報告 一般住民の健康教育講座受講行動につ

いて……………99(2)

朝倉恵美子／斉藤 光子／菊池すずゑ

前田ひで子／山本 幸枝／惣宇利幸子

深尾 弘子／宮永佳代子／持田真理子

金川 克子

研究報告 大学病院における初診患者の受診行動
に関する研究……………108(2)

小野ツルコ／金川 克子

天津 栄子／吉田 民子／前田 麗子

研究報告 大学病院における継続受診患者の医療
行動に関する研究……………118(2)

金川 克子／天津 栄子

小野ツルコ／吉田 民子

研究報告 糖尿病患者にみられる治療中断行動に
ついて……………131(2)

鈴木 祐恵／藤岡 忠治／成瀬 優知

<Conference>

素材 ある結核患者の保健医療行動について

……………137(2)

惣宇利幸子

素材を
めぐって

自立心と受け入れの相克の中で……………142(2)

長谷川隆夫／佐竹 礼子／東野美代子

惣宇利幸子／小野ツルコ

安静——その科学的根拠を探る

座談会 治療過程における安静の意義と看護研
究の課題を追う……………173(3)

平塚 秀雄／平岡 昌和

中村 ヒサ／津田佳世子

研究	産褥期の疲労について……………184(3)
	吉川 陽子／石村由利子 徳田 訓子／前原 澄子
研究	安静度と看護活動の必要度との関連性 ……………193(3)
	青木 和夫／渡辺 亮一／津田佳世子
<Conference>	
素材	安静度が決められた患者に生活行動援助を判断する際、根拠とした情報の分類 ……………204(3)
	池田美佐子／室田 結子／根岸 和代 山本 厚子／横山千津子
素材を めぐって	根拠情報の質的向上こそ緊急の課題…227(3)
	雨宮 悦子／数間 恵子／川島みどり 中西 睦子／池田美佐子／室田 結子 根岸 和代／山本 厚子／横山千津子
看護における基礎研究	
座談会	看護研究の動向と基礎研究の位置づけ ……………245(4)
	氏家 幸子／内 海 滉 津田佳世子／萩沢さつえ 橋本 秀子
研究	食道癌術後早期肺合併症の実態とその 予防……………258(4)
	木村 久子／松山真知子 古沢 恵子／玉木 真理
研究	臥位持続の生態に及ぼす影響……………265(4)
	木内 妙子／山本 浩子 山田 泰子／竹山 真紀
研究	現行消毒法の再検討——超音波洗浄装 置による手指消毒法について——…275(4)
	滝 幸代／松岡 淳夫
研究	基本的体位の体圧と枕によるその変化 ……………282(4)
	山口 公代／萩沢さつえ

海外論文

Primary Journal Selection Using Citations from an Indexing Service Journal: A Method Example from Nursing Literature 雑誌検索サービスにおける基本雑誌の選択——看 護文献の方法と実例……………64(1)	Arthur W. Hafner 訳・波多野浩道
Effect of Nursing Reassurance on Patient Vocal Stress Levels 看護婦の励ましが生患者の声の緊張のレベルに及ぼ す効果……………74(1)	Barbara F. Brockway Ora B. Plummer Barbara M. Lowe 訳・内海 滉
The Postsurgery Heart Patients: Amount of Uninterrupted Time for Sleep and Rest during the First, Second, and Third Postoperative Days in a Teaching Hospital 心臓手術患者の術後3日間における睡眠及び休息 量の観察……………289(4)	Betty Boyd Walker 訳・雨宮 悦子／中西 睦子
Changes in Judgement of Duration with Deff- erence Patterns of Auditory Information for Individuals Confined to Bed 安静状態での時間体験——聴覚情報によるその変 化……………298(4)	Mary Jane Smith 訳・遠藤 敏子
抄読会	
“看護理論と実践の接点 第2版”をめぐって…306(4)	波多野梗子／金川 克子 田村やよひ／中西 友子